

○ 評価法ワークシート ○

1、評価とは？

〈1〉評価の目的

① _____

② _____

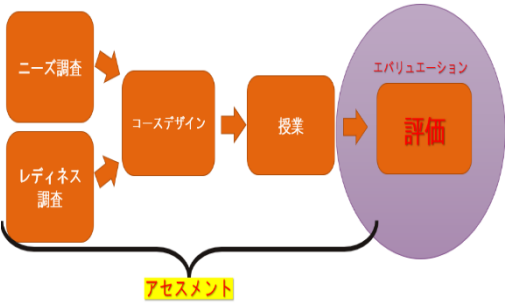
③ _____

評価

評価

評価

〈2〉評価の用語

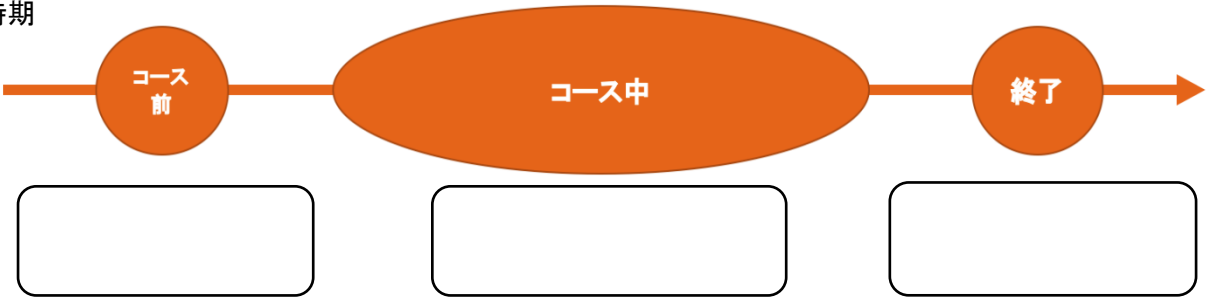


☆アセスメント : _____

☆エバリュエーション : _____

2、評価の分類

〈1〉時期



〈2〉主体

・ _____ : 学校など枠組みの中で行われる評価
例) _____

・ _____ : 枠組みの外で行われる評価
例) _____

〈3〉性格

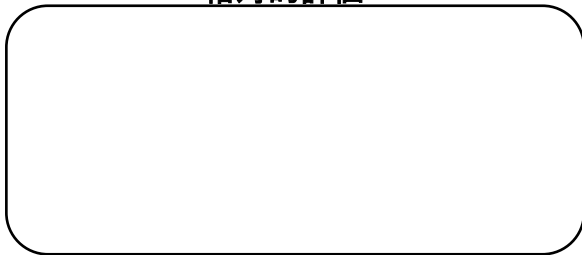
・ 選別評価 : _____
例) _____

・ 測定評価 : _____
例) _____

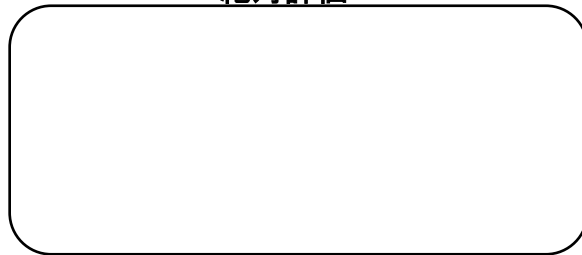
・ 認定評価 : _____
例) _____

〈4〉基準

相対的評価



絶対評価



〈5〉評価方法



☆自律学習に役立つ評価方法

1、 _____ :

日本語学習のポートフォリオ : _____

2、 _____

① CEFR



② JF スタンドード



③ 日本語教育の参照枠



3、 _____ :

3、テストとは？

【1】テストの分類

〈1〉用途

- ① 適正テスト：語学学習に対する適正を測るためのテスト
- ② _____：現段階の学習状況を確認するためのテスト
- ③ _____：学習したことを理解しているかを測るテスト
- ④ _____：目標を達成しているかを測るためのテスト
- ⑤ _____：学習者の実力を認定基準に照らして、レベルを測るためのテスト

〈2〉目的

集団基準準拠テスト（NRT）

目的基準準拠テスト（CRT）

〈3〉内容

- ・項目別テスト（個別的要素テスト）：

例） _____

- ・全体テスト（統合的テスト）：

例） _____

〈4〉分野別

〈5〉採点方法

・主観テスト： _____
例) _____

・客観テスト： _____
例) _____

【2】客観テストの問題形式

〈1〉分類

・再認形式： _____

・再生形式： _____

〈2〉再認形式の問題

先週、私は姉とデパートへ行って、買い物をしました。デパートにかわいい
犬がいたので、欲しくなったけど、マンションでは飼えないので、あきらめました。

() わたしは犬を飼いました。

わたしの兄は市役所に勤めています。

- 1 私の兄は市役所で働いています。
- 2 私の兄は市役所で勉強しています。
- 3 私の兄は市役所に住んでいます。
- 4 私の兄は市役所に引っ越します。

- | | | |
|---|-----|-----|
| 1 | 熱が | 出る |
| 2 | せきが | 痛い |
| 3 | 頭が | ある |
| 4 | 涙が | 流れる |

_____°

(わたしは きのう ともだちと あった)

〈3〉再生形式の問題

わたしは 毎日 学校へ 行きます。

()

山田さん () 旦那さん () 今、アメリカ () います。

・ 妻は去年、大学に卒業されました。

→ _____。

・ テストが悪かったので、お母さんに叱りました。

→ _____。

・ 今までに外国へ _____。

・ 怒った部長はまるで _____。

A : _____。

B : すみません。ちょっと・・・残業しますから。

次の文を依頼の文に変えなさい。

1、薬を飲みます → ()

2、手を洗います → ()

例) この町はにぎやかじゃありませんでした。

→この町は静かでした。

① あのパソコンは高くなかったです。

→ _____。

漢字で書いてください。

1 なおす ()

2 がっこう ()

【その他】

・ 質問法 : _____

・ 翻訳法 : _____

・ クローズ法 (クローズテスト)

→文章の空欄に語彙・文字を入れて、文・文章を完成させるテスト

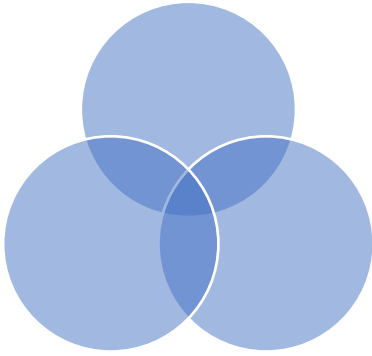
【3】主観テスト

〈1〉形式

〈2〉注意点

4、いいテストとは？

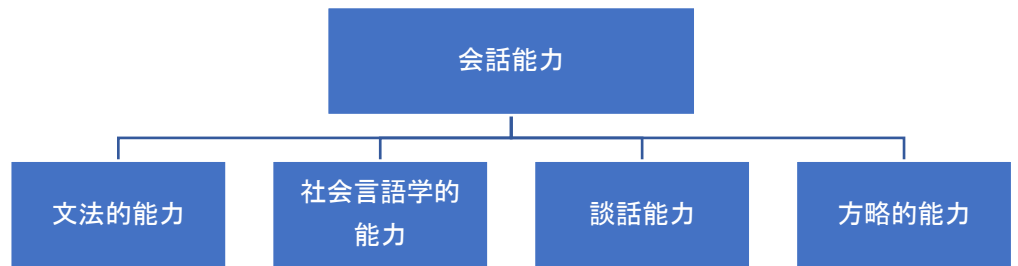
- ・ いいテストとは



〈1〉妥当性

① 構成概念的妥当性

- 1、 _____：現実の場面に近いかどうか。
- 2、問いたい能力が問える問題になっているか。



② 内容的妥当性

- 1、領域代表性： _____
- 2、領域適切性： _____
- 3、難易度

③ 基準関連妥当性

→ 内在的テストと外在的テストの関連が強いかどうか

④ 表面的妥当性

→ _____

〈2〉信頼性

- ① _____ : $0 < p < 1$
個人 : 0.85 以上 個人 : 0.65 以上

② 求め方

- ・再テスト法 : _____

- ・平行テスト法 : _____

- ・折半テスト法 : _____

〈3〉有用性

- ① 効率性 : _____
- ② 実用性 : _____

5、テスト分析

〈1〉材料集め

① 得点

- ・ 素点（粗点）：操作していないそのままの得点
- ・ 標準点（標準得点）：テスト結果を比較するために出した得点

② 散布度

- ・ 範囲（レンジ）： _____
- ・ 標準偏差：偏差値を出すために必要な数値
平均値からどのくらい散らばっているか分かる数値

③ グラフ

- 1 累積度数表／度数分布表
- 2 ヒトグラム＝棒グラフ／度数分布表
- 3 折れ線グラフ＝度数分布曲線

〈3〉分析

① 代表値

平均値	
中央値	
最頻値	

② 相関

- ・ 相関係数： $-1 < X < 1$
 $0.7 \leq X \leq 1$ の場合、相関関係が高い。

・ 正の相関： _____

・ 負の相関： _____

〈4〉項目分析

① 材料

難易度 (困難度)	正答率
弁別力 (識別力)	できる人とできない人に分ける。 上位 33%と下位 33%の正答率 を見る。 ☆ _____ : 0.4 以上がいい。
点双列相関関係	全体の正答率と項目の正答率との関係

② グラフ

・ 項目分析一覧図

・ 項目特性曲線

・ SP 表

③ 項目応答理論

古典的テスト理論



項目応答理論
IRT

④ 統計処理

T 検定	
分散分析	
カイ二乗検定	

⑤ 誤差

後光効果	
寛容効果	
ステレオタイプ	
系列効果	
中心化傾向	
初頭効果	
対比誤差	

6、日本語試験

① OPI

② JLPT

③ EJU

④ その他